

一五二三年に伊勢から北条に改姓して五百年

小田原北条氏誕生五百年記念シンポジウム

天正十年（一五八二）、「本能寺の変」で織田信長が横死したことで、戦国時代はその終焉に向かい大きく動き出す。その一つは、旧武田領の信濃・甲斐をめぐり、「天正壬午の乱」と呼ばれる北条氏と徳川家康、上杉景勝との三つ巴の争いであった。結果として、北条氏と家康の和睦、家康の娘の督姫が氏直の正室として嫁ぎ、北条氏と家康は同盟を結んだ。

天正一八年（一五九〇）、豊臣秀吉は家康をも配下に置き、「天下統一」を目指し、関東の北条氏を攻める「小田原合戦」が勃発する。家康は秀吉軍の主力部隊として小田原城を攻囲し、三か月の籠城戦の末、北条氏は降伏し、秀吉による「天下統一」が成し遂げられる。本シンポジウムでは、徳川家康と小田原北条氏との関係を紐解きながら戦国時代の終焉「天下統一」に至る激動の経過を見つめてみる。

第五十九回小田原北条五代祭り

オープニングセレモニー・小田原北条氏誕生五百年記念

家康と小田原北条氏

シンポジウム

開催日時

2023年

5月3日(水・祝)
12:20 - 15:40
(開場 11:30)

会場

小田原三の丸ホール
大ホール

小田原市本町1丁目7-50

平山 優(ひらやま ゆう)



1964年東京都生まれ。武田氏研究会副会長。山梨県埋蔵文化財センター文化財主事、山梨県立博物館副主幹、山梨県立中央高等学校教諭を歴任。2016年大河ドラマ「真田丸」、2023年「どうする家康」の時代考証を担当。
著書に、『武田信玄』『長篠合戦と武田勝頼』（吉川弘文館）、『戦国大名領国の基礎構造』（校倉書房）、『天正壬午の乱 増補改訂版』（戎光祥出版）、『武田三代』（PHP研究所、2021年）など多数。

黒田 基樹(くろだ もとき)



1965年東京都生まれ。駿河台大学教授。早稲田大学卒、駒沢大学大学院博士課程単位取得満期退学、博士(日本史学)(駒澤大学)。専門は、日本中世史。小田原北条氏研究の第一人者として知られ、NHK・大河ドラマ「真田丸」時代考証担当。
著書に、『図説 戦国北条氏と合戦』（戎光祥出版、2018年）、『戦国大名・伊勢宗瑞』（角川選書、2019年）、『戦国大名・北条氏直』（角川選書、2020年）など多数。

諏訪間 順(すわまじゅん)



1960年神奈川県生まれ。小田原城天守閣館長。立正大学文学部史学科考古学専攻課程卒業、博士(史学)(東京都立大学)。専門は、旧石器考古学、城郭考古学。1982年から小田原城の発掘調査や史跡整備を担当し、2010年天守閣学芸員、2014年より小田原城天守閣館長。著書に、『相模野台地の旧石器考古学』（新泉社、2019）、『小田原城の歴史』『戦国大名北条氏の歴史』（吉川弘文館、2019年）など多数。

プログラム

- 12:20 小田原北条太鼓の会
- 12:30 オープニングセレモニー
- 13:00 シンポジウム開会 司会：北島 美穂 (FMヨコハマ)
- 13:00 《講演1》趣旨説明「家康と小田原北条氏」諏訪間 順
- 13:30 《講演2》「天正壬午の乱での家康と北条氏の戦い」平山 優
- 14:10 《講演3》「家康と北条氏の同盟と秀吉との対決」黒田 基樹
- 14:50 休憩(10分)
- 15:00 《シンポジウム》「家康と北条氏の関係を紐解く」
- 15:40 閉会

料 金

【全席指定 700席】

大人 1,000円 小・中学生 500円

※未就学児は大人1名につき1名席上にお座りいただけます。
※途中休憩時間があります。
※席に限りがあります。申し込みは先着順となります。
※シンポジウムの内容は、変更・中止となる場合があります。
詳細は小田原三の丸ホールホームページをご覧ください。

申込方法

3月15日(水) 10時から 受付開始

下記 WEB サイト、または受付窓口にてお申込みください。

《WEB チケット》 <https://p-ticket.jp/odawara> (24時間) ▶

※事前会員登録(無料)が必要です。



《窓口販売》 小田原三の丸ホール窓口(10:00 - 20:00/第1・3月曜休)

ハルネ小田原 街かど案内所(10:00 - 19:00)

※窓口の販売は現金のみ対応可能です。



【新幹線・電車でお越しの場合】

JR 東海道新幹線・東海道本線、小田急小田原線、伊豆箱根鉄道大雄山線、箱根登山鉄道小田原駅東口より徒歩13分

【お車で越しの場合】

小田原厚木道路 荻窪ICより小田原駅方面10分

※北条五代祭り開催のため公共交通機関での来場にご協力ください。